

旅立ち

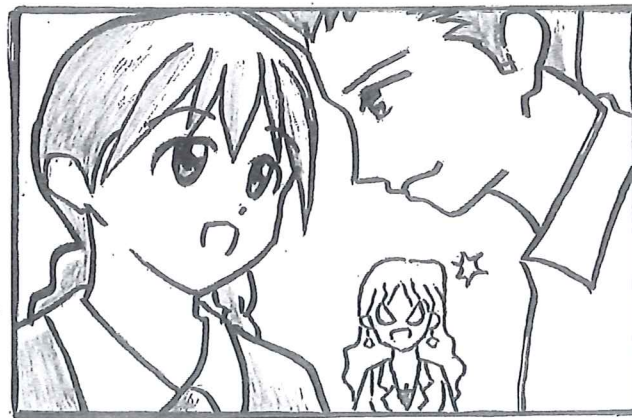
社会福祉法人しらとり会
当事者通信(No. 115)
令和7(2025)年5月1発行

今月は、6名の方からの投稿です。



フリー散歩に行けるようになって楽しみも増えて、やっぱりお菓子を買って食べるに他の楽しみがなかった。一人じめしてる感じで。今思うに、こんなにしんどいことになるなら、保護室にずっといればよかったかなと思う。先のことはわからない。しげきを求めすぎた。欲ばらなければよかった。退院して自由になったようで、ものごとがおそろしくなった。保護室で起きないといけないのが苦痛だった。少欲知足できてれば感謝もできてれば。

(匿名)



- 精神科とは頭の学問で医学として人間として全く実行性がない。
 - 分かってから行動すると言う精神科医にも申すがでは精神科医は外科手術を見学したら外科手術を理解したら外科手術が完璧にできるのか？
 - 何事も頭だけで生活している精神科医が本を読んだり人に教えてもらわねければ分からない精神科医が社会とは学問では生きれないのに学者が生きている限り精神疾患は絶対なくなるらない。
 - 勤務医時代に経営的に頭のボケた精神科医が開業してもクリニックを病院にはできない。
 - 孤独に耐えるのが経営者だ。
- (加藤忠男)

【投稿の募集】

投稿記事は、オリジナルのイラスト、投稿者の思いです。
 読んでいただいた方からの感想をお寄せください。また、利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。
 次回の締切は、5月15日（木）です。